

「令和8年度 北海道札幌視覚支援学校グランドデザイン」

「教育理念」

視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校

「学校教育目標」

○ 意欲的に学び、考える人 ○ 心を豊かに伝え合い、思いやりのある人 ○ 健康で、たくましく活動する人

「令和8年度の重点的取組」

視覚障がい教育の拠点校としての役割の発揮と主体的で豊かな学びと交流に満ちた幸せを実感できる学校づくり
【教職員のウェルビーイング】 【幼児児童生徒のウェルビーイング】 【保護者・地域のウェルビーイング】
心理的安全性の確保、組織の活性化 資質・能力、達成感・幸福感の向上 信頼・連携、共育・共創、幸せの循環

豊かな人間性

- ・自らの思いや希望を伝えることができる。
- ・自分と異なる考え方を知り、受け止めることができる。
- ・自他の良さに気づき、人との関わりの中で自己を積極的に生かすことができる。

健康・体力

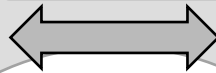
- ・運動することの楽しさや良さを知り、運動習慣を育成することができる。
- ・望ましい生活習慣・食習慣を身に付け、健康維持に努めることができる。

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・学習等に見通しや目的意識をもち、意欲的に最後まで取り組み、充実した学びを得ることができる。
- ・自らの考えを適切な方法で表現するとともに、他者意識をもち、相手の気持ちを考えることができる。
- ・学習したことや身に付けたことを活用して、進んで考えたり工夫したりすることができる。

資質・能力の育成



何が身に付いたか

○学校評価を通じた学習指導の改善

- ・「わかる・できる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感し、次の学習や活動への更なる意欲や知的好奇心をもつことができる。
- ・考えや気持ちを伝える・知るための適切な言語や表現方法を身に付けることができる。
- ・社会的・職業的自立に向けた課題に対して、必要な情報を集め、考え、解決に向けて行動することができる。

幼児児童生徒の実態

- ・素直で真面目で、思いやりがある。
- ・授業における主体的・対話的な学びが弱い。
- ・特別活動における主体的な参加が十分ではない。

幼児児童生徒の発達をどのように支援するか

障がいの状態に応じた幼児児童生徒への支援

- ・心身の健康と心理的安全性を基盤として、知的好奇心、探究心、挑戦心、向上心を育む指導に努める。
- ・知識の定着と技能の向上を図るため、保有する感覚を活用した指導内容・方法の工夫に努める。
- ・各学部の教員が相互に連携し、各教科等の一貫した指導の充実を図る。

目指す幼児児童生徒の姿

- 【自律】自分の夢や目標を持ち、その実現に向けて、自ら考え判断し、努力を続ける幼児児童生徒
- 【尊重】他人の気持ちや状況を考え理解し、思いやりのある行動を取る幼児児童生徒
- 【協働】周りの人と積極的に関わりながら、主体的に課題を解決したり変化に対応したりする幼児児童生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・社会的・職業的自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。
- ・考えや感じたことを伝える言語や表現方法を理解する。
- ・空間や時間に関する概念を形成し、課題や活動に見通しを持ち、他者と関わりながら課題等を解決する。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・各教科等における自ら考え、判断するような学習場面や心理的安全性を高める環境の設定
- ・「協働的な学び」を通じての言語能力を中心とした資質・能力の育成と定着
- ・協働的な活動の意図的・計画的な設定による各教育活動及び学校行事の推進
- ・ICTを活用した新たな学習活動（「個別最適な学び」と「協働的な学び」）の一体的な充実

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学部間縦断的及び教科等横断的な視点による各教科等、行事、道德教育、キャリア教育、安全教育、食育の推進
- ・教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うための、個別の指導計画及び個別的教育支援計画の効果的な活用
- ・学校（教務・保健室）、家庭、寄宿舎等との連携のための効果的な会議の設定や工夫、生成AI活用による校務の効率化等の推進
- ・地域住民や地域資源、外部人材と連携した学習活動の計画的、効果的な実施による経験・活動機会の拡大

安全・安心を守る

- ・火災や地震等の災害を想定した避難訓練の実施
- ・プール等、活動時における緊急対応訓練の実施
- ・通学路の状況変化の速やかな連絡と見守り等の実施
- ・視覚障がい者に優しい校内（教育）環境づくり
- ・危機管理マニュアルの集約と管理

開かれた学校づくり

- ・研究、広報、理解・啓発活動の電子媒体での発信強化
- ・理解・啓発活動の多角的推進と、教育相談の充実
- ・他校との交流及び共同学習
- ・コミュニティースクールを活用した地域活動・地域貢献の推進
- ・研修コンテンツの充実と、それを活用した研修の推進
- ・持続可能な社会を創る力を育む教育（ESD）の推進